

## IV. 昭和 36 年度の研究成果発表の状況

### 出 版 物

次の 3 種がある。

#### 東京大学生産技術研究所報告（略称：生研報告）

所員のまとまった研究成果を発表する。文は和文または欧文とし、不定期発行で年間 10 種前後を出している。

#### 生 産 研 究

研究の解説的紹介と速報的紹介とをかね、月刊で発行している。

以上は、当所の発行の分で、その他随時に学会誌、協会誌の各誌に発表している。

#### 生研リーフレット

生研の研究成果で、実用化への手引とするため、写真中心に簡略に編集したもので、現在まで 84 種を発行している。

昭和 36 年度（4 月～37 年 3 月）に発表した分を次に列挙する。

#### A. 東京大学生産技術研究所報告（不定期刊研究発表誌）

巻 号	題	目	著 者	発行年月
11・1	組み合わせ応力をうける鉄筋コンクリート部材の弾塑性的研究（英文）		坪井 善勝 末永 保美	36. 7
11・2	球形殻と円筒殻の逆対称曲げ状態の理論と応用（英文）		坪井 善勝 秋野 金次	36. 9
11・3	球形殻非対称曲げ理論の近似解一般が偏平でない場合—（英文）		坪井 善勝 川股 重也	36. 9
11・4	写真レンズのレスポンス函数測定法の研究		小瀬 輝次	36.12
11・5	金属板材の成形性に関する研究		山田 嘉昭	36.12
11・6	X線透過写真のコントラストに関する研究		仙田 富男	37. 1
12・1	溶接継手の脆性破壊について（英文）		安藤 良夫	37. 3

#### B. 生産研究（月刊研究紹介誌）

巻 号 (発行年月)	題	目	著 者
13巻 4号 (36年 4月)	トリムによる船の静復原力の変化		田宮 真
	黒鉛材料の新接合法の開発		安藤 良夫・藤村 理人
	金属の高温酸化機構		本間 禎一・一色 貞文
	—Valensi の理論の反応速度論的拡張—		
	ヘビードリックの応力計測（速報）		安藤 良夫・高橋 幸伯 長谷川功三・内山 厚克

卷号 (発行年月)	題 目	著 者
	摩擦型抵抗線用増幅器について (速報)	大井光四郎・浅野 六郎
	アーチダムの振動観測 (II) (速報)	小倉 公達 岡本 舜三・加藤 勝行
	地表面層の振動観測 (速報)	伯野 元彦・宮越 義暉 岡本 舜三・加藤 勝行
13巻5号 (36年5月)	生研における自動車の研究経過	平尾 収
自動車特集号	自動車の振動に関する研究	亙理 厚
	自動車の運動力学	藤井 澄二・井口 雅一
	自動車の自動操向とそれに関連する問題	菊池 英一
	自動車試験台による性能試験法 (その 1)	宮本 三二
	自動車用流体伝動装置	石原 智男
	自動車用原動機としてのガスタービン	水町 長生
	自動車用軽合金材料	加藤 正夫
	高速道路について	星埜 和
	小型車の振動および騒音試験 (速報)	立石 泰三・西山 正一
13巻6号 (36年6月)	日本の塩 (巻頭言)	岡 宗次郎
	雷放電カウンタによる測定	藤高 周平・河村 達雄
	原子炉用 Zr 合金の溶接	安藤 良夫
	米欧の電気工学 (II) (海外事情)	森脇 義雄
	拡張誤差関数を裏関数に含む新しいラプラス変換式 (速報)	安達 芳夫
	関数 $f_1(z; x_1, x_2)$ と $f_2(z; x_1, x_2)$ の性質 (速報)	安達 芳夫・渡辺 勝
	超音波厚み計による板波の観察 (速報)	尾上 守夫
	整流, 記憶, 発振作用を行なう電解質装置 (速報)	山本 啓太
13巻7号 (36年7月)	球頭ポンチによる深絞りと摩擦係数の推定	山田 嘉昭
	遮蔽3相半同軸共振器によるテンソル磁化率の測定	浜崎 襲二・木村 隆英
	水銀ポロシメータによる細孔分布の測定	福田 義民・河添邦太郎
	フィルムを用いた散乱 X 線線量比の測定について (速報)	池田 憲治 片岡 邦郎・高 正植 一色 貞文
	液相における臭素の吸着 (速報)	福田 義民・河添邦太郎 岡戸 明雄
13巻8号 (36年8月)	高力アルミニウム合金製組立応急橋	福田 武雄・加藤 正夫
	放射性追跡法による摩耗試験	加藤 正夫
	極圧添加剤について	松永 正久
	球形ロケット	秋葉鎌二郎
	ヨーロッパ知識人エガート博士の見た日本 (海外事情)	野崎 弘
13巻9号 (36年9月)	超高速カメラに関する研究	植村 恒義
	超音波の作用とその工業的応用	鳥飼 安生

巻号 (発行年月)	題 目	著 者
13巻10号 (36年10月)	斜流ポンプの性能に及ぼす羽根表面あらさの影響 (速報)	井田 富夫
	観測ロケットの開発と協同	藤高 周平
観測ロケット 特 集 号 —カッパ 8・9 型—	秋田におけるチーフ会議の思い出	福田 武雄
	カッパ 6H 型について	糸川 英夫
	420 B, カッパ 7 型, およびカッパ 8 D 型について	糸川 英夫
	カッパ 8 型について	糸川 英夫
	カッパ 9 型について	糸川 英夫
	カッパ 7, 8, 9 L 型ロケットの空気力学	玉木 章夫・三石 智
	カッパ 6 H, 7, 8 D, 8, 9 L 型の性能	永井 達成
	カッパ 7 型, 8 型, 9 L 型の構造強度について	広沢 曄夫
	8 型用ランチャー	森 大吉郎
	カッパ 7, 8, 9 型のロケットチャンバ	森 大吉郎・加藤 温
	SP-150 ロケットのスピニング特性	安藤 良夫
	SP-150 の飛しょう実験	戸田 康明・板橋 宗雄
	デジタルコンピュータによる飛しょう特性計算	中村 巖
	DOVAP レーダ用ロケットアンテナ	玉木 章夫
	高感度受信機 1	渡辺 勝・樋口 一雄
テレメータ用大型空中線	戸川 隼人	
DDVAP について	長谷部 望・市川 満	
ドバップトランスポンダ	高木 昇	
カッパ 7 型よりカッパ 8 型 7 号機にいたる間における テレメータ実験について	鶴 宏・高橋 健一	
レーダによるロケット航跡標定結果	原 宏徳	
カッパ・ロケットのドバップ実験について	山下不二雄	
加速度計	牧野 健一・山中 恒夫	
カッパ 8 型の歪計と温度計	水野 英	
タイマー	牧野 健一・山中 恒夫	
カッパ 6 型ロケット (RS-3・4, TW-6・7, 6 H-1, 18 号機) の光学的追跡について	水野 英	
—高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究 (第 33 報)—	テレメータ研究班	
	レーダ研究班	
	ドバップ研究班	
	中村 円生・吉山 巖	
	森 大吉郎・和波 衛身	
	今沢 茂夫	
	中村 円生・吉山 巖	
	植村 恒義・長野 末光	
	田中 勝也・鷹野 修二	

	カップ7型1号機および8D型機の光学的追跡について 一同 上 (第34報)一	植村 恒義・山本 芳孝 戸田 健次・長野 末光 田中 勝也
	カップ8型ロケットの光学的追跡について 一同 上 (第35報)一	植村 恒義・伊藤 寛治 山本 芳孝・黒河 喜昭 岡宮 誠一
	カップ9L型1号機および小型モデルロケットの光学的 追跡について 一同 上 (第36報)一 上層における気温・風の観測結果について	植村 恒義・長野 末光 金沢 和夫・鷹野 修二 田中 勝也 前田 憲一・竹屋 芳夫 松本 治弥・奥本 隆昭
	カップ8型用電離層測定器	平尾 邦雄
	カップ8型の宇宙線測定	電離層直接観測グループ 宮崎友喜雄・竹内 一 今井 喬・大塚 好造 大矢 幸司
	大気光観測装置	古畑 正秋
	欧米の宇宙科学技術の現状(その1) 総務班秋田記録の概要 —1959年11月~1961年4月— 1959年3月~1961年7月実験の記録	高木 昇 下村潤二郎 広沢 嘩夫
13巻11号 (36年11月)	イオン交換膜におけるイオンの選択透過性 低融点ガラスについて 建築の工業生産化について 使用済核燃料再処理に関する話題(海外事情) マラカイトグリーン・ロイコベースの放射線酸化(速報)	妹尾 学・山辺 武郎 今岡 稔 池辺 陽 山本 寛 永井 芳男・後藤 信行 清水 文代
13巻12号 (36年12月) 精密圧延 機特集号	極薄銅テープ用精密冷間可逆圧延機の計画から試運転まで 極薄銅テープ圧延機 冷間圧延機張力および巻取り制御装置 精密圧延機の電気設備について 銅テープ厚み測定装置 圧延機の剛性について 精密冷間可逆圧延機による銅テープ試作実験 —極薄テープの圧延とその厚み精度について— 多層撚同軸ケーブルの概要とその内部導体銅テープに 要求される諸性質について	鈴木 弘 鈴木 弘 佐藤 武彦・伊藤敬之助 樋口登志男 杉 正男・熊丸 博之 鈴木 弘・竹内 政夫 美坂 佳助 古川 孟・河本 恭爾 杉 正男・笹川 柁男

	庄延加工の幅広がりを与える実験式について (速報)	柳本 左門
14巻1号	高速度写真による爆発成形機構の解析	植村 恒義・山本 芳孝
(37年1月)	放射性追跡法による河川流水流下速度の測定に 関する野外実験	加藤 正夫・河添邦太郎 佐藤 乙丸・猪瀬 寧雄 森田 義育・小浜 実 森脇 義雄・河村 達雄
	高性能多チャンネル型波高分析器	大島康次郎
	東欧諸国を視て (海外事情)	高橋 武雄
	カナダ雜記 (海外事情)	高橋 武雄
	Cu-Be 合金の時効に及ぼす Cr の影響 (速報)	西川 精一・長田 和雄 小林 繁美
	音響材料の高音域における吸音率測定 (速報)	渡辺 要・石井 聖光 平野 興彦・朝生 周二
	ピラゾールージヒドロアジン型染料々料の合成と ハロゲン化 (速報)	君島 二郎
14巻2号	ロクーン研究経過	平尾 収
(37年2月)	ロクーン (シグマ4型) 実験の概要	岡本 智
観測ロケット 特集号 一ロクーン 第2号一	シグマ4型ロクーンロケットについて	岡本 智・五代 富文
	ロクーン・シグマ4型の性能計算	渡辺 勝・樋口 一雄 戸川 隼人
	今次ロクーン実験におけるエレクトロニクス装置について	野村 民也・斎藤 成文
	ロクーン・シグマ4型テレメータ送信機	倉茂 周芳・小羽根澄夫
	シグマ4型の宇宙線測定	宇宙線観測班
	シグマ4型2号機における気圧測定	富永 五郎・金 文沢 和波 衛身
	推進軸加速度計および計測結果 タイマー	吉山 巖・中村 円生 鈴木 正吾
	ロクーン・コマンド用送受信機	中村 日色・河原 滋
	ロクーン用気球の帯電について	岡崎 三郎・岡本 智 相原 公一
	スピンメータ	倉茂 周芳・小羽根澄夫
	シグマ4型コントロールボックス用テレメータ送信機	倉茂 周芳・小羽根澄夫
	飛揚時の気象と気球追跡	北岡 竜海
	ロクーン実験における通信について	高中 泓澄・鈴木 康雄 市川 満
	ロクーン実験における警備概況	小松 正幸
14巻3号	二変数函数装置の試作	渡辺 勝・渡部 弘之
(37年3月)	鉄筋コンクリート用鋼材の最近の動向と問題点	丸安 隆和・小林 一輔
	ヨーロッパおよびオーストラリアの旅行 (海外事情)	菊池 真一

巻号 (発行年月)	題	目	著	者
	翼列試験用衝撃風洞 (速報)		玉木 章夫・三石 智	
			永井 達成	
	シミュレータによる磁気増幅器動作機構の解析 (速報)		宮本 明雄	

### C. 生研リーフレット

36 年度発行のものはなかったので、リストは省略する。

### D. 著書および所外の学術雑誌等に発表したもの

#### 第 1 部

#### 教授 久保田 広

Interference Color, Progress in Optics, Volume I, 211~251. North-Holland Publishing Co, 1961.

輻射のゆらぎとその応用, 科学 (岩波書店), 31, 9, 478, 1961. 9.

写真レンズとレスポンス関数 (第9章フーリエ解析について), カメラ工業技術研究組合 Circular 1, 89~102, 1961. 10.

コヒーレンス理論の発展 (朝倉利光と共著), 日本物理学会誌, 16, 12, 742~751, 1961 12.

#### 教授 一色 貞文

工場に適用される非破壊検査方式の展望, 日本機械学会誌, 65, 516, 15~22, 日本機械学会, 1962. 1.

#### 教授 玉木 章夫

Experimental Studies on the Aerodynamic Characteristics of Cone-Cylinder Bodies and Wing-Body Combinations at Supersonic Speeds (with S. Mitsuishi, and S. Nagai) Proc. 2nd International Symposium on Rockets and Astronautics, Tokyo, 1960, 137-141, Yokendo, Tokyo, 1961.

#### 助教授 大井光四郎

工業数学, 機械工学年鑑, p. 23, 1961. 7.

Frictional-type Wire Resistance Strain Gage, 1st Internat. Congr. on Exp. Mech. 前刷 1961. 11.

#### 助教授 富永 五郎

真空装置の build-up test の研究, (辻泰, 金文沢と共著) 真空, 5, 3, 1962.

#### 助教授 鳥飼 安生

近距離音場について, 音響学会秋季研究発表会講演論文集, 2, 2, 4, 1961. 10.

助教授 森 大吉郎

On the Vibration of the Body of the Sounding Rocket, Proc. 2nd International Symposium on Rockets and Astronautics, Tokyo 1960, 123~127, Yokendo, Tokyo. 1961.

助教授 山田 嘉昭

ひずみ増分理論による半径方向絞りの解析, 塑性と加工, 2, 10, 601~612, 1961. 11.

助教授 小瀬 輝次

写真レンズとレスポンス関数 (第2章レスポンス関数の計算法, 第3章レスポンス関数測定法), カメラ工業技術研究組合 Circular 1, 15~41, 1961. 10.

Optical Transfer Function (物理学メモ), 日本物理学会誌. 16, 11, 136, 1961. 11.

技官 北川 英夫

Apparent Brittleness of Steel Produced by Corrosion Fatigue (M. Sato と共著), Proc. 4th Japan Cong. Test. Mat. p. 29, 1961. 3.

Some Behaviors of Structural Steel Subjected to Corrosion Fatigue (The 4th Report) —Influence of Mean Stress— (T. Morohashi と共著); Proc. 10th Japan Nat. Cong. App. Mech. p. 155, 1961. 3.

金属材料の腐食疲れ, 第6回金属材料の強度と疲労総合シンポジウム予稿, 日本金属学会, p. 55, 1961. 4.

疲れにおける表面効果, 日本機械学会第150回講習会前刷, p. 63, 1961. 5.

疲れにおける雰囲気と温度の影響とその対策, 最近の金属材料の疲労とその対策講習会 No. 59, 2~1, 日刊工業, 1961. 12.

研究員 大和田 信

高温における金属の弾性率について, CAS 研究報告, 4号, 1961. (各個研究 1・38(a)参照)

高温における金属の振り特性, ロケット研究ノート 71号, 1961. 9. (各個研究 1・38(b)参照)

無誘導ロケットでも人工衛星ができるか (池田健と共著), ロケット研究ノート, No. 61, 1961. 5. (各個研究 1・39参照)

助手 辻 泰

真空中のガラス表面および油膜への水蒸気の収着, 真空 4, 5, 198~209, 1961.

真空装置の排気における水蒸気の物理吸着の影響, 真空 4, 9, 381~384, 1961.

Sorption of Water Vapour on Glass Surface in Vacuum Apparatus, J. Phys. Soc. Japan 17, 1, 218~227, 1962.

Effect of Physical adsorption of Water Vapour or Evacuation Process in Vacuum Apparatus, J. Appl. Phys. Japan **31**, 2, 142~145, 1962.

助手 朝倉 利光

Annular and Annulus Apertures with Spherical Aberration and Defocussing. (R. Barakat と共著), 応用物理, **30**, 10, 728~735, 1961, 10.

Focal Plane Shutter の像, 応用物理, **30**, 10, 797~798, 1961. 10.

コヒーレンス理論の発展(久保田広と共著), 日本物理学会誌, **16**, 12, 742~751, 1961. 12.

Study on the Best Focus with Small Amounts of Primary Spherical Aberration (福井桂と共著), 応用物理, **31**, 3, 1962. 3.

マトリックス像形成理論について, 応用物理, **31**, 3, 1962. 3.

Axial Intensity Distribution for an Anular Aperture with Primary Spherical Aberration, 応用物理, **31**, 3, 1962. 3.

## 第 2 部

教授 竹中 規雄

横中ぐり盤(テーブル形)運転検査日本工業規格(案)について, 日本機械学会誌, **64**, 514, 98, 日本機械学会, 1961. 11.

四球試験における球材質の影響(第1報, 超硬球による切削油剤の試験)(松永, 鳴沢, 内藤と共著), 精密機械, **27**, 11, 30, 精機学会, 1961. 11.

四球試験における球材質の影響(第4報, 摩耗痕の大きさについての考察)(松永, 鳴沢と共著), 精機学会昭和36年秋季大会学術講演会前刷95, 精機学会, 1961. 11.

教授 小川 正義

心無し研究法に関する研究(第4報)一ひずみ量と工作条件一(宮下政和と共著), 精密機械, **27**, 6, 107~112, 精機学会, 1961. 6.

教授 鈴木 弘

塑性加工, 裳華房, 1961, 7.

教授 平尾 収

Gemisch-Erwärmung bei Ottomotoren Temperaturanstieg der Ansaugluft durch Wäreabgabe der heißen Motorteile, M. T. Z, Jahrg. 22, Heft 3, März, 1961.

Japanese Rockoon System and Techniques (岡本智と共著) 第3回国際ロケットシンポジウム論文集, 1961. 8.

生研における自動車の研究, 大学院機械工学ゼミナール, 1962. 2.



日本の自動車エンジンの現状, 石油学会誌, 5, 4.

教授 亙理 厚

機械力学 (第7章非線型振動), 裳草房, 1961. 5.

教授 水町 長生

空気タービン, 日本機械学会誌, 64, 509, 949~953, 日本機械学会, 1961. 9.

ラジアルガスタービンの現状, 日本機械学会誌, 65, 516, 44~54, 日本機械学会, 1962  
1.

教授 田宮 真

矩形開水槽内の自由水, 船の科学, 14, 12, 85~89, 船舶技術協会, 1961. 12. 10.

教授 松永 正久

四球試験における球材質の影響(第1報: パレル研磨用コンパウンドの試験, 第2報: 超  
硬部による切削油済の試験), 精機学会春季講演会予稿, p.117, 1961. 4.

同上(第3報: 砥石球による研削油剤の研究. 荻生田善明と共著), 精機学会春季講  
演会予稿, p.120, 1961. 4.

直流型接触電気抵抗自記装置とその応用(第1報: 目的及び構造, 第2報: 実験例),  
同上, p.141, 1961. 4.

A Study of Surface Finish By Electrical Contact Resistance Measurements, Bulletin  
of Japan Society of Grinding Engineers, No. 1, 35~38, 1961. 8.

合成樹脂のパレル研磨, 合成樹脂, 7, 8, 35~38, 1961. 9.

極圧添加剤と鉄との作用について(第1報: Barcroft 法による研究, 荻生田善明と共  
著), 精機学会秋季講演会予稿, p.91~92, 1961. 10.

同上(第2報: 電子回折法による研究, 豊口満と共著)同前, 93~94, 1961. 10.

四球試験における球材質の影響(第4報: 摩耗痕の大きさについての考察. 竹中規雄・  
鳴沢勇平と共著)同前, p.95~96, 1961. 10.

同上(第2報: 超硬球による切削油剤の試験. 竹中規雄・鳴沢勇平・内藤敬と共著)  
精機学会春季講演会予稿, p.118, 精密機械 27, 11, 742~749, 1961. 11.

ラッピングの理論と実際, 1961 精密工作技術ゼミナー教材, 1~9, 1961. 11.

潤滑油と金属との反応とその測定法, 塑性と加工 3, 13, 161~172, 1962. 2.

表面測定(単行本), 誠文堂新光社, 1962. 3.

助教授 大島康次郎

A Servo Analyzer Utilizing Special Rectangular Wave (with M. Hayase), ACTA  
IMEKO, 1961. 6.

国際計測会議に出席して, 計測と制御, 1, 1, 64~67, 1962. 1.

サーボ機構 (17~22), 機械の研究, 13, 3, 475~478, 4, 585~590, 5, 711~714, 7, 963~965, 8, 1091~1093, 11, 1437~1440, (23, 24), 14, 1, 41~43, 2, 327~331.

助教授 植村 恒義

超高速カメラの試作 (第3報) (伊藤寛治, 黒河喜昭と共著), 第8回応用物理学関係  
連合講演会象稿集, p. 86, 1961. 4.

爆発成形の変形機構 (第1報) (山本芳孝, 金沢和夫と共著), 第8回応用物理学関係  
連合講演会予稿集, p. 87, 1961. 4.

合成樹脂のシャルピー衝撃破壊機構 (山本芳孝, 長野末光と共著), 第8回応用物理学関  
係連合講演会予稿集 p. 88, 1961. 4.

超高速写真撮影装置に関する研究, 精機学会春季大会学術講演会前刷, p. 145~146,  
1961. 4.

高速度写真による爆発成形機構の解析 (山本芳孝と共著), 昭和36年度工業火薬協会研  
究発表会講演要旨, p. 70~71, 1961. 4.

A New Type of Ultra-High-Speed Framing Camera Combining a Rotating Mirror  
With a Film Drum, Journal of the SMPTE. Vol. 70, p. 280~283, April 1961.

高速度写真による爆発成形機構の解析 (山本芳孝と共著), 金属, p. 33~38, 1961. 7.

高速度写真による衝撃破壊機構の研究 (第2報), (山本芳孝と共著), 第11回応用力学  
連合講演会論文抄録集, p. 85~86, 1961. 9.

高速度写真による爆発成形機構 (第1報) (山本芳孝と共著), 第5回材料試験連合講演  
会前刷, p. 91~92, 1961. 9.

高速度写真測定, 技術者と研究者のための光学的測定法に関する講習会 (第6回精密測  
定講習会) テキスト, p. 155~181, 1961. 10.

助教授 安藤 良夫

黒鉛材料の接合に関する研究 (第2報) (原研藤村理人, 中崎長三郎と共著) 溶接学会  
誌, 30, 3, 181, 溶接学会 1961. 3.

黒鉛の接合に関する開発研究, 溶接技術 9, 6, 397, 1961. 6. 溶接ニュース出版局(編  
集・日本溶接協会), 溶接技術, 10, 2, 1962. 2. 溶接ニュース出版局

Al合金の溶接部気孔の研究 (第4報) (原研藤村理人, 中崎長三郎, 茨大大内正博と共  
著) 溶接学会誌, 30, 9, 661 溶接学会, 1961. 9.

低温構造用材料の展望, 金属材料 1, 7, 10, 1961. 11. 日刊工業新聞社.

Nolch Toughness of Rocket Structural Materials and Their Welded Joints, 2nd ISRA,  
Tokyo Proceedings p. 112, 1961.

助教授 高橋 幸伯

造船用鋼材の高応力疲れ試験, 第2報, 造船協会論文集, 109, 425~432, 1961. 6.

同上 第3報, 造船協会論文集, 110, 327~324, 1961. 12.

抵抗線ひずみ計の耐水処理, 非破壊検査, 10, 3, 145~148, 1961. 6.

#### 助教授 柴田 碧

鉄道車両用パンタグラフの中離線について (I), 機械学会機械力学部門講演会前刷, 1961. 4.

配管系の耐震設計について (II) (重田達也と共著), 応用力学連合講演会前刷, 1961. 8.

配管系の耐震設計について (III) (重田達也と共著), 機械学会 39 期全国大会前刷, 1961. 11.

原子炉配管系の耐震設計 (重田達也と共著), 原子力研究総合発表会前刷, 1962. 2.

On an Aseismic Design of Piping Works (重田達也と共著), Proc. of JNCAM 11, 1962. 3.

#### 助教授 森 政弘

自動制御の領域から, 最近の応用物性, p. 169~173, 日本物理学会, 1961. 7.

むだ時間を含む制御系の制御装置に対する必要条件 (示村悦二郎と共著), 第4回自動制御連合講演会前刷, p. 15~16, 1961. 11.

サイバネティックスの立場から見た各種制御素子の対照表 (梅谷陽二と共著), 第4回自動制御連合講演会前刷, p. 121~122, 1961. 11.

軟体機械 (人工筋肉へのこころみ), 日本機械学会誌, 65, 517, 275~283, 日本機械学会, 1962. 2.

シーケンス自動制御, 東大機械ゼミナールテキスト, [2] p. 57~79, 東大機械工学ゼミナール, 1962. 2.

#### 助手 梅谷 陽二

動的計画法 (DP) とアダプティブ制御系, 自動制御, 8, 2, 116~121, 1961. 4.

動的計画法の自動制御系への応用, 日本科学技術連盟テキスト, 1961. 5.

化学的な情報処理——イオン膜を応用した回路素子——, 第4回自動制御連合講演会前刷, p. 261~262, 1961. 11.

価値工学について, 計測自動制御学会自動制御部会資料, 1, 1, 22~25, 1962. 2.

### 第 3 部

#### 教授 藤高 周平

雷放電カウンタによる測定結果 (河村達雄・田代文之助と共著), 電気4学会連合大会講演論文集, 842, 1961. 4.

急峻波頭インパルスによる絶縁破壊について (河村達雄・本間善勝と共著), 電気4学会

- 連合大会講演論文集, 861, 1961. 4.
- 九州若松海岸における塩害調査 (藤田良雄・竹之内達也・西村文一・広山道雄・小川定雄と共著), 電気4学会連合大会講演論文集, 864, 1961. 4.
- 碍子の汚損状況の判定について (藤田良雄と共著), 電気4学会連合大会講演論文集, 867, 1961. 4.
- 接地電極による地表面電位分布について (横井良秀と共著), 電気4学会連合大会講演論文集, 888, 1961. 4.
- 超高圧変圧器のモデルによる電磁機械力の研究 (大山松次郎・富山順二・浅川七平と共著), 電気4学会連合大会シンポジウム, S.4-2, 1961. 4.
- 偶発現象自動多重蓄積装置 (野村民也・山本尚志・坂本義行と共著), 電気学会東京支部大会講演論文集, 48, 1961. 11.
- 雷放電カウンタによる測定 (河村達雄・田代文之助と共著), 電気学会東京支部大会講演論文集, 234, 1961. 11.

#### 教授 高木 昇

- 非破壊検査とテレビジョン, テレビジョン, 14, 10, 468, 1961. 3.
- IEC ニューデリー総会, オーム, 48, 3, 33, 1961. 3.
- 水晶振動子と電子部品の基本的試験法, オーム, 48, 3, 47, 1961. 3.
- 執行委員会, オーム, 48, 3, 53, 1961. 3.
- 宇宙空間の電子計測, 第11回工経連講座, 1961. 5.
- 原子力工業における非破壊検査, 第15回工経連講座, 1961. 5.
- 宇宙通信をめぐる諸問題, 電子工学振興協会会報, 14, 4, 1961. 7.
- 宇宙科学と宇宙通信, NHK 技研月報, 4, 7, 1, 1961. 7.
- 欧米かけある記—宇宙科学技術海外調査団の一員として—電気通信, 24, 177, 22, 1961. 9.
- 新しい電子計測技術, 第29回工経連講座, 1962. 1.

#### 教授 森脇 義雄

- 最も一般的な最小接点回路の設計法, 電気4学会連合大会講演論文集, 13, 1961. 4.
- 周波数変調を利用した多チャネル波高分析器(河村達雄・三原真吾と共著), 電気4学会連合大会講演論文集, 526, 1961. 4.
- 待合せ方式による多チャネル波高分析器の高速度化 (河村達雄・寺川俊昭と共著), 電気4学会連合大会講演論文集, 527, 1961. 4.
- 待合せ方式による高速度多チャネル波高分析器(河村達雄・寺川俊昭と共著), 第4回日本アイソトープ会議論文抄録集, D-18, 1961. 10.
- 周波数変調式多チャネル波高分析器(河村達雄・三原真吾と共著), 第4回日本アイソトープ会議論文抄録集, D-19, 1961. 10.
- 遅延線を記憶装置とする多チャネル波高分析器の高速度化 (河村達雄・三輪博秀・水越慎と共著), 第4回日本アイソトープ会議論文抄録集, D-20, 1961. 10.

高速度多チャネル波高分析器の新方式（河村達雄と共著），昭和36年秋季応用物理学会  
日本計測学会連合学術講演会予稿集，15 p-II-9, 1961. 10.

多チャネル型波高分析器の高速度化，原子力工業，7, 12, 51~56, 1961. 12.

波高分析器の最近の進歩，第3回原子力研究総合発表会要旨集，365~366, 1962. 2.

#### 教授 齋藤 成文

電子ビーム形パラメトリック増幅器—特にサイクロトロン波形について—電気通信学会  
雑誌，44, 4, 606, 1961. 4.

時間的ならびに空間的旋回電界によるサイクロトロン波のパラメトリック増幅（見目正  
道と共著），電気通信学会雑誌 44, 6, 916, 1961. 6.

電子ビームにおけるサイクロトロン波と同期波の運ぶエネルギーについて，電気通信学  
会雑誌，44, 11, 1749, 1961. 11.

低雑音サイクロトロンビーム管の理論と試作実験（見目正道・松岡徹と共著），電気通信  
学会雑誌，44, 12, 1849, 1961. 12.

#### 教授 野村 民也

カップロケットのDOVAP実験について（齋藤成文と共著），電気通信学会航空電子専  
門委員会資料，1961. 2.

カップロケットのDOVAP装置（齋藤成文と共著），ロケットシンポジウム予稿，  
1961. 7.

New Tracking Radar System of Kappa Rocket（高木昇・榎本俊弥・渡辺優と共著），  
3rd ISRA, Tokyo. 1961. 9.

偶発現象自動多重蓄積装置（藤高周平・山本尚志・坂本義行と共著），電気学会東京支  
部大会講演論文集，48, 1961. 11.

#### 教授 後藤 以紀

国際計数センターのシンポジウムに出席して，情報処理 2, 2, 63~73, 1961. 3.

#### 助教授 安達 芳夫

理想的な合金接合ダイオードおよびトランジスタのスイッチ時間（理論）（真鍋幸夫と共  
著），電気4学会連合大会講演論文集，1337, 1961. 4.

合金接合トランジスタのスイッチ時間（立上り時間と蓄積時間）について：（真鍋幸夫  
と共著），電気4学会連合大会講演論文集，1338, 1961. 4.

#### 助教授 尾上 守夫

副共振を考慮にいれた水晶振動子の等価回路，電気4学会連合大会講演論文集，1046，  
1961. 4.

超音波可撓遅延線路（山田博幸と共著），電気4学会連合大会講演論文集 1056, 1961. 4.

エサキダイオードによる増幅共振回路 (栗原稔と共著), 電気4学会連合大会講演論文集 No. 1412, 1961. 4.

固体中超音波の伝播に関する理論, 電気4学会連合大会シンポジウムS. 8-1, 1961. 4.

圧電磁歪ジャイレータ, 音響学会春季研究発表会論文集, No. 3-1-7, 1961. 5.

板波による超高波損傷法, 非破壊検査, 10, 3, 135~144, 1961. 6.

Frequency of Edge Mode of Isotropic Thin Rectangular Plate, Circular Disk and Rod, J. Acous. Soc. Amer. 33, p. 1627, 1961. 11.

Edge Mode of Thin Rectangular Plate of Barium Titanate (Y. H. Pao と共著), J. Acous. Soc. Amer. 33, p. 1628, 1961. 11.

#### 助教授 黒川 兼行

Minimum Noise Figure of the Variable-Capacitance Amplifier (M. Uenohara と共著) BSTJ, 40, 3, 695~722, ATT, 1961. 5.

Actual Noise Measure of Linear Amplifiers, Proc. IRE, 49, 9, 1391~1397, 1961. 9.

On the Use of Passive Circuit Measurement for the Adjustment of Variable Capacitance Amplifiers, BSTJ, 41, 1, 361~381, ATT, 1962. 1.

#### 助教授 浜崎 襄二

4 端子型負性抵抗増幅器, 電気4学会連合大会講演論文集, 1173, 1961. 4.

UHF 帯におけるテンソル透磁率の測定 (木村隆英と共著), 電気4学会連合大会講演論文集, 1189, 1961. 4.

A Traveling-Wave Type Parametric Amplifier for Space Communications (斎藤成文 片山伸生と共著), 3rd ISRA, Tokyo, 1961. 9.

4 分の 1 波長結合負性抵抗増幅器, 電気通信学会雑誌 44, 1781~1788, 1961. 11.

#### 助教授 河村 達雄

雷放電カウンタによる観測結果 (藤高周平と共著), 雷害事故調査委員会資料, 24, 1961. 2.

多チャンネル波高分析器の高速化 (寺川俊昭と共著), 第8回応用物理学連合講演会予稿集 31 p-IV-9, 1961. 3.

雷放電カウンタによる測定結果 (藤高周平・田代之文と共著), 電気4学会連合大会講演論文集, 842, 1961. 4.

急峻波頭インパルスによる絶縁破壊について (藤高周平・本間善勝と共著), 電気4学会連合大会講演論文集, 861, 1961. 4.

パルス発生回路と整形回路, 工業技術振興会・日刊工業新聞社主催パルス回路の基礎と設計講習会テキスト, 1961. 4.

雷放電カウンタによる観測結果 (第2報) (藤高周平と共著), 高電圧技術研究会資料,

7—10, 1961. 8.

雷放電カウンタによる観測結果(第3報)(藤高周平と共著), 高電圧技術研究会資料, 7—11, 1961. 8.

遅延線を記憶装置とする多チャンネル波高分析器の高速化(森脇義雄・三輪博秀・水越慎と共著), 第4回日本アイソトープ会議論文抄録集, D-20, 1961. 10.

高速度多チャンネル波高分析器の新方式(森脇義雄と共著), 昭和36年秋季応用物理学会・日本計測学会連合学術講演会予稿集, 15 p-II-9, 1961. 10.

雷放電カウンタによる測定(藤高周平・田代文之助と共著), 電気学会東京支部大会講演論文集, 234, 1961. 11.

過負荷防止回路付安定化電源の検討, 電気学会標準電子回路専門委員会資料, 115, 1961. 11.

技官 後川 昭雄

*pn* 接合のアドミタンス変調, 電気通信学会雑誌, 44, 2, 212~221, 1961. 2.

橋絡T型インピーダンス・ブリッジと容量の検出感度(松田周と共著), 電気学会東京支部大会論文集, 40, 1961. 11.

ドリフト・トランジスタのエミッタ障壁容量と内部定数, 電気通信学会雑誌, 45, 1, 43~51, 1962. 1.

助手 石橋 泰雄

ストロボ表示超音波厚み計(市川初男と共著), 電気4学会連合大会講演論文集, 183, 1961. 4.

直視型超音波厚み計の軽量化(市川初男と共著), 電気通信学会全国大会講演論文集, 65, 1961. 11.

超音波厚み計のトランジスタ化(市川初男と共著), 計測自動制御学会誌, 1, 2, 141~149, 1962. 2.

## 第 4 部

教授 高橋 武雄

交流ポーラログラフイヤーの研究(6) マンニット・銅錯塩の溶存状態(白井ひで子と共著), 工化, 64, 515~517, 1961. 3.

Study of the Reduction Waves of the Isomers of Nitrophenol by Means of the Alternating Current Polarograph (白井ひで子と共著) TALANTA, 8, 177~186, 1961. 4.

教授 福田 義民

オートメーションと技術革新(原善四郎その他と共訳), 日本生産性本部, 1961. 11.

炭素材料のマイクロメリティクス (第2報)—炭素材料の粉碎特性—(河添邦太朗・池田憲治と共著), 炭素, 8, 1962. 3.

教授 永井 芳男

ポリスチレンとフタル酸ジクロリドの反応 (中島利誠・後藤信行と共著), 工化誌, 64, 1838, 1961.

反応染料について, 染料と薬品, 6, 473, 化成品工業協会, 1961. 12.

教授 山本 寛

放射性廃液の1段および2段凝集沈殿処理 (石原見塩・角谷と共著), 日本原子力学会誌, 3, 5, 353, 1961. 5.

Effect of the Surface Diffusion on the Separation Efficiency (石田・下川と共著), Trans. Faraday Soc., 57, 11, 2018, 1961. 11.

傾斜管抽出装置によるウラン抽出の操作範囲 (栗原らと共著), 日本原子力学会誌, 4, 1, 37, 1962. 1.

分離効率に及ぼす表面拡散の影響 (石田らと共著), 科学技術庁原子力平和利用委託費総合研究報告 (化学工学協会受託), ウラン濃縮プラントの設計計算に関する研究, 21, 1962.

教授 浅原 照三

プロピレンと四塩化炭素とのテロメリゼーション (テロメリゼーションに関する研究, 第3報) (高木行雄と共著), 工化誌, 64, 1099, 1961.

エチレンと四塩化炭素とのテロメリゼーションに及ぼす容量比の影響 (同上, 第4報) (高木行雄と共著), 工化誌, 64, 1475, 1961.

四塩化炭素と希釈剤の混合溶媒中におけるエチレンのテロメリゼーション (同上, 第5報) (高木行雄と共著), 工化, 64, 1634, 1961.

酢酸ビニルと四塩化炭素とのテロマー (同上, 第6報) (高木行雄と共著), 工化, 64, 1961, 1961.

分析化学進歩総説 (油脂), (山下健二郎と共著) 分析化学, 10, 1155, 1961.

ω-オキシ脂肪酸およびその誘導体よりのポリエステルの生成ならびにその性状 (山下健二郎・伴光敏・森岡志富と共著), 化学関係学協会連合講演要旨 p. 72, 1961. 11.

ポリグリコリドの生成ならびにその性状に関する研究 (山下健二郎・森岡志富と共著), 有機合成化学協会講演, 1961. 11.

脂肪酸ビニルエステルと塩化ビニルとの共重合体の内部可塑効果, 工化誌, 65, 791~794, 1962.

顔料のぬれ, 顔料, 6, 4, 1962.

教授 加藤 正夫



- 漂砂の放射性追跡法について (佐藤乙丸と共著), 応用物理, **30**, 8, 20, 1961. 8.  
RI の工程管理への応用, その 1, 原子力工業, **7**, 9, 9, 1961. 9.  
同前, その 2, 原子力工業, **7**, 10, 57, 1961. 10.  
アルミニウム合金 10 年の進歩, 軽金属 10 周年記念, 軽金属協会, p. 82, 1961.10.  
ガンマ線およびエックス線の後方散乱に対する表面材料の影響 (大段康治・佐藤乙丸と共著), 第 4 回アイソトープ会議論文抄録集, Sa-1, p. 26, 1961. 10.; Radioisotopes, **11**, 1, 1962.  
簡易な液体シンチレーションカウンターを用い油溶性スルホン酸塩の吸着に関する研究 (豊口満・高井義郎と共著), 第 4 回日本アイソトープ会議論文抄録集, E-25, p. 239 1961. 10.  
放射性追跡法による河川流水流下速度の測定に関する野外実験 (河添邦太郎他 4 名と共著), 第 4 回日本アイソトープ会議論文抄録集, E-29, p. 243, 1961. 10.  
放射線および放射性同位元素, 電気工学年報 (昭和 36 年度版) p. 395, 1961. 12.  
RI 工業的利用の問題点, 技術ジャーナル, No. 119, p. 5, 1962. 1.  
原子力開発の現状と見通し—RI の利用, 原子力工業, **8**, 1, 20, 1962. 1.

#### 教授 野崎 弘

- エレクトレットと整流器, 物性, **2**, 10, 649, 1961. 9.

#### 助教授 山辺 武郎

- On the Electromigration in Ion-exchange Papers (妹尾学・高井信治と共著), Bull. Chem. Soc. Japan, **34**, 5, 738, 1961. 5.  
殺藻剤 (Algicide) について, 用水と廃水, **3**, 5, 437, 1961. 5.  
イオン交換膜による有機酸, 有機塩基, アルカロイドの電解透析 (第 2 報) キニーネの透過性について (上井一郎と共著), 薬学雑誌, **81**, 6, 931, 1961. 6.  
純金属製造の新しい技術—イオン交換法, 電化, **29**, 8, 596, 1961. 8.  
イオン交換樹脂膜, 日塩誌, **15**, 3, 137, 1961. 8.

#### 助教授 中村 亦夫

- ブドウ糖水溶液の加熱におけるメラノイジンの生成と 5-オキシメチルフルフラールの関係 (吉弘芳郎・黒岩城雄と共著), 工化誌, **64**, 3, 551, 1961.  
ブドウ糖の酸性溶液中の加熱着色と 5-オキシメチルフルフラールの生成に及ぼす微量アミノ酸の影響 (吉弘芳郎・黒岩城雄と共著), 工化誌, **64**, 4, 671, 1961.  
市販糖化酵素によるグルコースよりオリゴ糖の逆合成 (黒岩城雄と共著), 工化誌, **64**, 5, 942, 1961.  
間接加熱方式による縦型連続蒸煮機 (吉弘芳郎・黒岩城雄と共著), 醸協誌 **19**, 2, 122, 1961.  
デンプンの酸液化 (黒岩城雄と共著), デンプン工業学会誌 **9**, 1, 17, 1961.

助教授 武藤 義一

- 分析化学便覧 (編集および一部執筆), 丸善, 1960. 10.  
機器分析概論 (荒木峻と共著), 日刊工業新聞社, 1961. 3.

助教授 今岡 稔

- ホウ酸塩系のガラス範囲について, 窯業, 69, 9, 282~306, 1961.  
高ビスマス-鉛ガラス, 工化, 64, 5, 871~878, 1961.

助教授 原 善四郎

- 金属粉末の特性と製品に及ぼす影響: 金属材料, 1, 4, 29, 日刊工業新聞社, 1961. 8.  
金属粉の抵抗焼結に関する研究 (第1報) (坂井徹郎と共著), 日本金属学会講演概要,  
第49回秋田39, 日本金属学会, 1961. 10.

助教授 後藤 信行

- 2,4,5- および 3,4,5- トリクロルナフタル-N-メチルイミドとベンゾアントロンとの  
ナトリウムアルコラートによる縮合 (永井芳男と共著), 工業化学雑誌, 64, 1222,  
1961.  
3,5-ジクロルナフタル-N-メチルイミドの合成ならびにそのベンゾアントロンとのアル  
カリ縮合 (永井芳男と共著), 工業化学雑誌 64, 1445, 1961.

助教授 河添邦太郎

- 溶解平衡, 化学工学物性定数 (1961), 62~69, 化学工学協会, 1961. 9.  
放射性追跡法による河川流水流速の測定に関する野外実験 (加藤正夫らと共著), 第  
4回日本アイソトープ会議論文抄録集, E-29, p. 243, 1961. 10.  
化学工学における吸着操作の展望, 化学工業, 5, 13, 8~10, 1961. 12.  
吸着, 化学機械装置年鑑, 111~115, 化学工業社, 1961. 12.  
放射性追跡法による河川流水流速の測定に関する野外実験 (加藤正夫・佐藤乙丸と  
共著), Radio-isotopes, 11, 1962. 3.  
炭素材料のマイクロメリティクス (第2報) —炭素材料の粉砕特性 (福田義民・池田憲治  
と共著), 炭素, 8, 1962. 3.

助手 妹尾 学

- Aggregation of Ion-exchange Resin Particles (山辺武郎と共著), Bull. Chem. Soc.  
Japan, 34, 7, 1002, 1961. 7.  
Ion-exchange Behavior of Acidic and Basic Amino Acids (山辺武郎と共著), Bull.  
Chem. Soc., Japan, 34, 7, 1021, 1961. 7.  
On the pH Dependence of Transport Behavior of Weak Acids and Weak Bases across  
Ion-exchange Membranes (山辺武郎と共著), Bull. Chem. Soc. Japan, 34, 11, 1741

1961. 11.

助手 高木 行雄

テトラクロルアルカン誘導体に関する研究 I,  $\alpha, \alpha, \alpha, \omega$ -テトラクロルアルカンの加水分解, 有機合成化協誌, 19, 931, 1961.

テロメリゼーション, 有機合成化協誌, 19, 172, 1961.

テトラクロルアルカン誘導体に関する研究 II,  $\omega$ -クロルカルボン酸のアンモノリシス, 有機合成化協誌, 20, 174, 1962.

テロメリゼーション, 化学工場, 6, 29, 1962.

助手 白井ひで子

交流ポーラログラフイーの研究 (6) マンニツ銅錯塩の溶存状態 (高橋武雄と共著), 工化, 64, 515~517, 1961. 3.

同上 (7) 数種支持塩中のニッケルの還元波, 日化, 82, 339~343, 1961. 3.

同上 (8) 炭酸水素カリウム支持塩中の銅, 鉛の還元波, 日化, 82, 1179~1182, 1961. 9.

Study of the Reduction Waves of the Isomers of Nitrophenol by Means of the Alternating Current Polarograph (高橋武雄と共著), Talanta 8, 177~186, 1961. 4.

助手 坂井 徹郎

金属粉の抵抗焼結に関する研究 (第1報) (原善四郎と共著), 日本金属学会講演概要, 第49回秋田39, 日本金属学会, 1961. 10.

技官 桜井 裕

セリウム(IV)イオンによるヒドロキシルアミンおよび過酸化水素の電量滴定法, 工化 64, 2119~21, 1961. 2.

スズ(II)を用いる電量滴定法, 工化, 64, 2121~24, 1961. 12.

## 第 5 部

教授 渡辺 要

無音送風装置に関する研究, (勝田高司・石井聖光・後藤滋と共著), 空気調和・衛生工学, 36(2), 1962. 2.

教授 坪井 善勝

実験による截断球殻の特性 (その5) (青木繁と共著), 日本建築学会論文報告集, 69号 1961. 10.

偏平球殻の公式とその応用, 日本建築学会論文報告集, 69号, 1961. 10.

球形殻非対称曲げ理論の近似解 (川股重也と共著), 日本建築学会論文報告集, 69号,

1961. 10.

耐震壁の模型実験 (矢代秀雄・藤沼敏夫と共著), 日本建築学会論文報告集, 69 号, 1961. 10.

風圧力を受ける球形殻の応力 (川股重也と共著), 日本建築学会関東支部第 31 回研究発表会, 1962. 1.

#### 教授 星 埜 和

高速道路の交通容量 (高速道路調査会交通容量特別研究部会) 1961. 4.

トラックの登坂性能に関する研究 (自動車技術会登坂速度調査委員会) 1961. 5.

砂利道の安定処理に関する研究 (建設技術研究報告) 1961. 5.

An Analysis of the Volume Change, Distortional Deformation and Induced Pore Pressure of Soils under Triaxial Loading, Proc. of the Fifth International Conference on Soil Mechanics and Foundation Engineering, 1, 151, 1961. 7.

道路の路側条件その他が交通流に与える影響について, 第 6 回日本道路会議特定課題 (8), 1, 1961. 11.

道路交通量と走行速度の調査および両者の相互関係について, 第 6 回日本道路会議特定課題 (9), 1, 1961. 11.

#### 教授 勝田 高司

長方形吹出口について (後藤滋と共著), 日本建築学会関東支部第 30 回研究発表会, 1961. 6.

パンカーループによる吹出気流について (広瀬正二と共著), 日本建築学会関東支部第 30 回研究発表会, 1961. 6.

平面にそって吹出気流について (寺沢達二と共著), 日本建築学会関東支部第 30 回研究発表会, 1961. 6.

ノズル形および長方形吹出口による吹出気流について (後藤滋・寺沢達二・広瀬正二と共著), 日本建築学会論文報告集, 69, 177~180, 1961. 10.

幅流吹出口の形状と気流特性について (後藤滋・寺沢達二と共著), 日本建築学会論文報告集, 69, 181~184, 1961. 10.

各種吹出口の気流および騒音特性 (1) (後藤滋・寺沢達二・広瀬正二と共著), 空気調和・衛生工学, 36(1), 108~128, 1962. 1.

#### 助教授 池辺 陽

基礎モジュールについて, 日本建築学会論文報告集 69 号.

工業生産化のための試作 PIW<sub>2</sub> 建築文化, 1961. 10.

カーテンウォールの概念, 材料と設計, 1961. 11.

シエルター標準化ノート, 新建材, 5, 1, 1962. 1.

助教授 三木五三郎

地盤改良工法，総説，土木学会誌，46～4，1961. 4.

助教授 田中 尚

A Systematic Calculation of Elastic-Plastic Deformation of Frames at Imminent Collapse, 日本建築学会論文報告集, 67, 1961. 2.

Plastic Deformations of Square Portal Frame under Horizontal Impact, 日本建築学会論文報告集, 68, 1961. 6.

塑性骨組の組織的解析法, 日本建築学会論文報告集, 69, 1961. 10.

助教授 石井 聖光

京都会館第1ホールの音響について(平野興彦・朝生周二と共著), 日本音響学会研究発表会講演論文集, 1961. 5.

模型実験に用いる材料の吸音率測定について(平野興彦・朝生周二と共著), 149, 日本音響学会研究発表会講演論文集, 1961. 10.

技官 小林 一輔

高炉セメントを用いたコンクリートの性質におよぼす乾燥および湿潤のくり返し作用の影響, 土木学会論文集, 72号, 1961. 1.

研究員 後藤 滋

消音吹出口ユニットの TL 実用式ならびに標準型について, 日本音響学会講演論文集, 149～150, 1961. 5.

研究員 石川 英敏

吹出吸込ディフューザの性能について, 空気調和と冷凍, 1, 3, 1961. 7.